



追加型投信 / 国内 / 株式

日本株セレクト・オープン“日本新世紀” 日本・小型株・ファンド 「小型株式市場を取り巻く投資環境について」

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2018年4月27日

平素は「日本・小型株・ファンド」をご愛顧いただきまして、厚く御礼申し上げます。

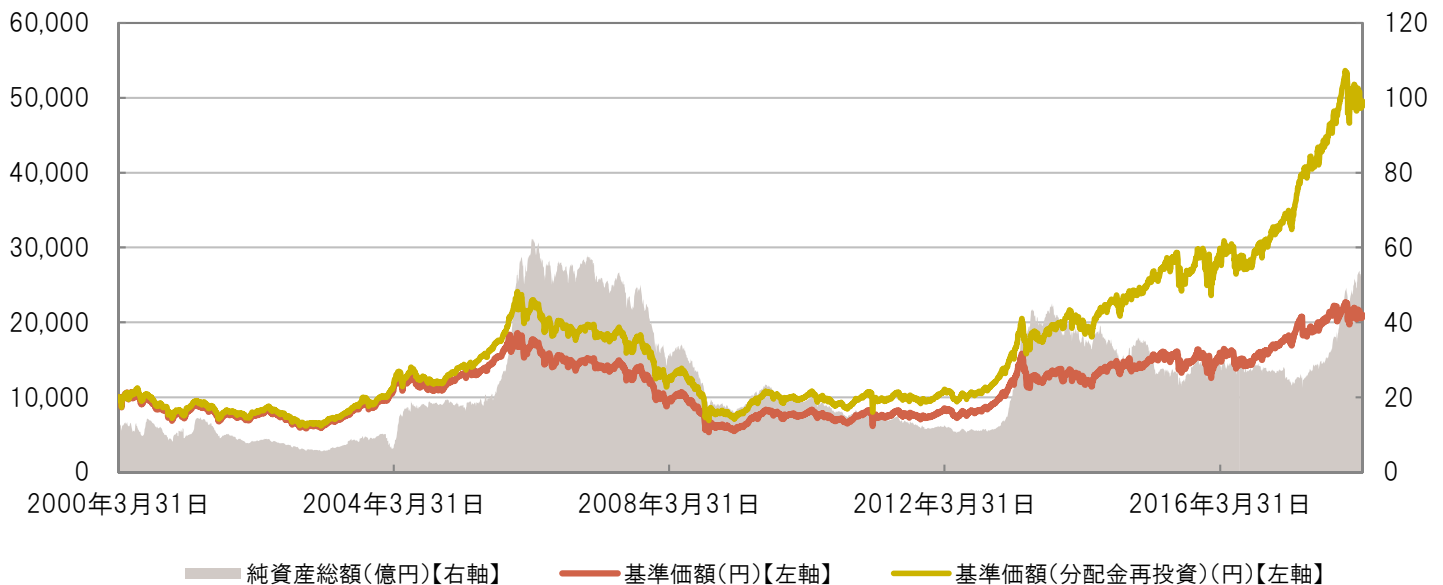
足下の国内小型株式市況は、米国の長期金利上昇をきっかけとした株価調整や貿易摩擦問題、地政学リスクなどが影響し、やや不安定な動きとなっています。

今後本格化する日本企業の2017年度決算発表では、為替の円高傾向や貿易摩擦問題等により企業の業務見通しが慎重になることも懸念され、当面は各企業間で決算内容や業績見通しの格差が広がる展開を想定しています。

一方、内外経済は拡大基調にあり、市場に落ち着きが戻れば、バリュエーション(投資価値基準)に割安感のある日本株市場全体も再度上昇トレンドに回帰すると判断しています。

日本の小型株市場は、投資家に十分に認知されていない成長企業も多く、まだ企業の実力が正しく評価されていないものの、人材の流動化やオープンイノベーション(新技術・新製品の開発に際して、組織の枠組みを越え、広く知識・技術の結集を図ること)、規制緩和などが追い風となり、小型株への注目が集まると考えています。

基準価額・純資産総額の推移(期間:2000年3月31日(設定日)~2018年4月27日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

日本株セレクト・オープン“日本新世紀” 日本・小型株・ファンド

当ファンドの基準価額上昇に寄与した上位5銘柄のご紹介

(期間:2017年4月28日～2018年4月27日)

- 当ファンドの2017年4月28日～2018年4月27日のファンドの基準価額上昇に寄与した上位5銘柄は、内需関連株が多くなっています。
- 個別銘柄では、「ノーリツ鋼機」、「日本ライフライン」、「レーザーテック」、「エン・ジャパン」、「ジャパンマテリアル」などがパフォーマンスの上昇に寄与しました。
- 一方、「エニグモ」、「ディップ」、「TOWA」、「フリークアウト・ホールディングス」、「インフォコム」などがマイナスに影響しました。

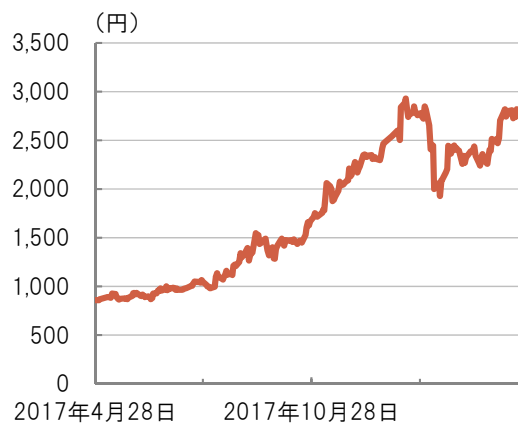
寄与度1位 7744 ノーリツ鋼機 (精密機器)

【企業概要】

かつてのフィルム現像機器メーカーから事業転換。ヘルスケア、創薬、通販など多方面で事業展開。

【投資のポイント】

ものづくり、ヘルスケア分野を中心に業績が好調な子会社が多く、持ち株会社である同社の連結業績への貢献を評価。



寄与度2位 7575 日本ライフライン (卸売業)

【企業概要】

独立系の医療機器商社で特に循環器領域に強い。国内での医療現場のニーズを反映した製品を提供するため自社製品の開発にも注力しており、商社だけではなくメーカー機能も拡大。

【投資のポイント】

EP(電気生理用)カテーテルやアブレーションカテーテルなどと呼ばれる不整脈の検査や治療を行うためのディスプレイ式の電極のついたカテーテル(細い管)などの売上拡大を評価。



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・業種は東証33業種で分類しています。
- ・上記記載の期間中に当ファンドの基準価額上昇への寄与の影響が大きかった5銘柄を表示しています。
- ・上記銘柄には途中で売却したものを含む場合があります。

上記は当ファンドの基準価額上昇に寄与した銘柄を示すために掲載したものであり、特定銘柄の推奨を目的とするものではありません。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■投資のポイントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

日本株セレクト・オープン“日本新世紀” 日本・小型株・ファンド

当ファンドの基準価額上昇に寄与した上位5銘柄のご紹介

(期間:2017年4月28日～2018年4月27日)

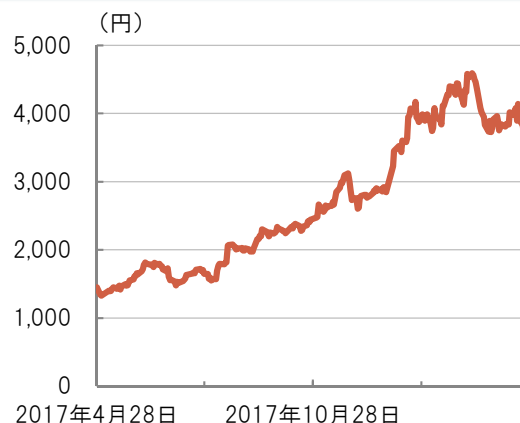
寄与度3位 6920 レーザーテック (電気機器)

【企業概要】

半導体、液晶の製造プロセスで使われる検査装置を中心とした装置メーカー。特に半導体マスク、またその材料となるマスクブランクスの欠陥検査装置では高いシェア。

【投資のポイント】

半導体の微細化技術の進展により、欠陥検査にも高感度なものが求められるようになり、高感度かつ高速で検査が行える同社装置への需要拡大を評価。



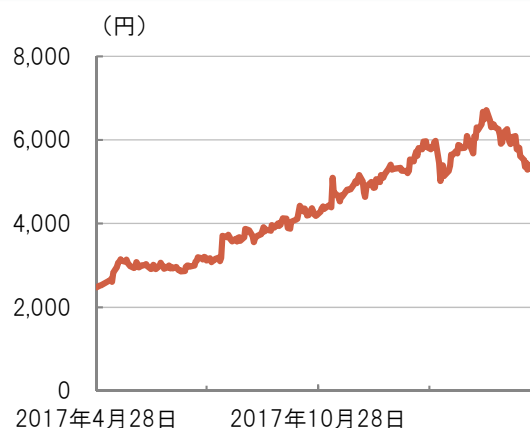
寄与度4位 4849 エン・ジャパン (サービス業)

【企業概要】

インターネット求人広告大手で、求人情報サイトの運営や人材紹介事業などを手掛ける。求人サイトでは転職や派遣などの各種情報を扱う。

【投資のポイント】

構造的な人手不足により採用難が見込まれる中、採用企業側では効果を重視したサイト選別が進む過程において、高い応募効果を示している同社への需要増を期待。



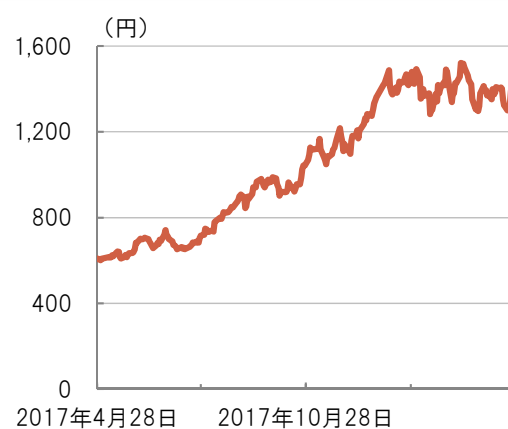
寄与度5位 6055 ジャパンマテリアル (サービス業)

【企業概要】

半導体および液晶関連工場の製造工程において不可欠な特殊ガスや超純水、薬液等の供給、管理を行う。

【投資のポイント】

主要顧客の半導体メーカーの設備投資の増加による同社サービスへの需要拡大を評価。



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・業種は東証33業種で分類しています。
- ・上記記載の期間中に当ファンドの基準価額上昇への寄与の影響が大きかった5銘柄を表示しています。
- ・上記銘柄には途中で売却したものを含む場合があります。

上記は当ファンドの基準価額上昇に寄与した銘柄を示すために掲載したものであり、特定銘柄の推奨を目的とするものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。 ■ 投資のポイントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

日本株セレクト・オープン“日本新世紀” 日本・小型株・ファンド

当ファンドの基準価額にマイナスの影響を与えた5銘柄のご紹介

(期間:2017年4月28日～2018年4月27日)

	銘柄コード	銘柄名	業種	企業概要
1	3665	エニグモ	情報・通信業	個人が出品者となって世界中の話題のアイテムを紹介・出品、販売することができるソーシャル・ショッピング・サイトを運営。
2	2379	ディップ	サービス業	インターネット求人広告を主とするメディア事業と看護師の人材紹介を主とするエージェント事業。
3	6315	TOWA	機械	半導体製造装置メーカー。主に半導体を樹脂で封止するためのモールドング装置を手掛ける。
4	6094	フリークアウト・ホールディングス	サービス業	主にインターネット広告における広告枠取引などに関連するサービスを提供。
5	4348	インフォコム	情報・通信業	電子コミックとヘルスケアを重点事業として、M&Aの積極的推進に加え、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)を活用したビジネスを展開。

- ・業種は東証33業種で分類しています。
- ・上記記載の期間中に当ファンドの基準価額にマイナスの影響が大きかった5銘柄を表示しています。
- ・上記銘柄には途中で売却したものを含む場合があります。

上記は当ファンドの基準価額にマイナスの影響を与えた銘柄を示すために掲載したものであり、特定銘柄の推奨を目的とするものではありません。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

日本株セレクト・オープン“日本新世紀” 日本・小型株・ファンド

ファンドの目的・特色

当ファンドは、わが国の株式を実質的な主要投資対象とする投資スタイルの異なる5つのファンドで構成される「日本株セレクト・オープン“日本新世紀”」を構成するファンドの1つです。

【目的】

わが国の小型株式を実質的な主要投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を厳選して投資することにより、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

【特色】

- 1 わが国の小型株式に主に投資します。
- 2 小型株式の中から、『成長性が高いと判断される銘柄』を綿密な企業調査により厳選して投資します。
- 3 RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスをベンチマークとします。

RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスを構成するインデックスの一つです。RUSSELL/NOMURA Small Capインデックスは、わが国の全金融商品取引所全上場銘柄の全時価総額(時価総額は全て安定持株控除後)の98%超をカバーするRUSSELL/NOMURA Total Marketインデックスのうち、時価総額下位約15%の銘柄により構成されています。

RUSSELL/NOMURA 日本株インデックスは、Russell Investmentsと野村證券株式会社が作成している株価指数で、当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はRussell Investmentsと野村證券株式会社に帰属します。また、Russell Investmentsと野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

【ファンドの仕組み】

・運用は主に日本・小型株・ファンド・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

【分配方針】

- ・年2回の決算時(6・12月の各10日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

○価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

○信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

○流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日本株セレクト・オープン“日本新世紀” 日本・小型株・ファンド

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2024年12月10日まで(2000年3月31日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年6・12月の10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
スイッチング	「日本株セレクト・オープン“日本新世紀”」(当ファンドを含む複数ファンドで構成されています。)を構成するファンド間でスイッチング(「日本株セレクト・オープン“日本新世紀”」を構成する他のファンドの換金代金をもって換金のお申込みを受付けた日にファンドの購入のお申込みを行うこと)が可能です。 ※スイッチングの取扱いの有無、スイッチングを行う場合の手続・手数料等の詳細は、販売会社にご確認ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.62%(税抜 年率1.5%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日本株セレクト・オープン“日本新世紀”日本・小型株・ファンド

販売会社一覧

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人	一般社団法人	一般社団法人
	登録金融機関	登録番号		日本投資顧問業協会	金融先物取引業協会	第二種金融商品取引業協会
株式会社 イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
ひろぎん証券株式会社(*)	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
株式会社 三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社 三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※ 商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱を中止しております。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。